

令和4年11月 新刊案内

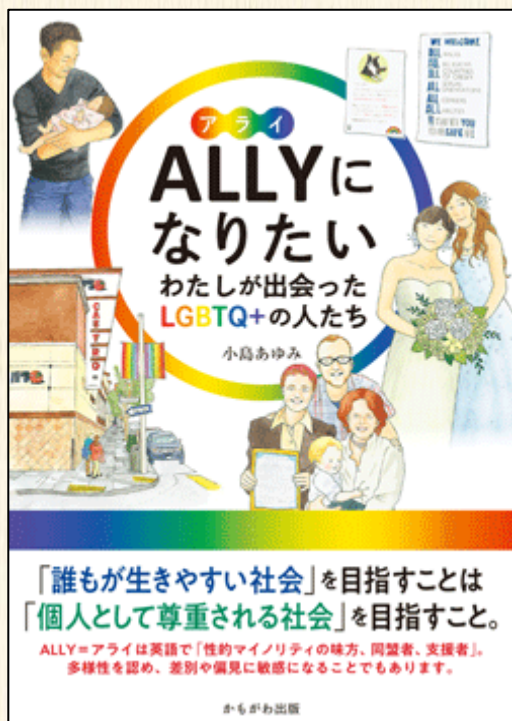


高砂市男女共同参画センターでは、
図書の貸し出しを行っています。
～ お一人様2冊まで、
期間は2週間です。～

ALLY (アライ) になりたい

著者：小島 あゆみ

アライは英語のALLYで「性的マイノリティの味方、同盟者、支援者」を意味します。アライになることは多様性を認め、差別や偏見に敏感になることでもあります。LGBTQ+の親と子どもの家族を「にじいろファミリー」と呼びますが、著者が会った「にじいろファミリー」達が愛に満ちていてとても素敵でした。全ての人が「かけがえのないひとつのいのち」として尊重される社会にするべきだと感じました。あなたはどうか？



ジェンダー・アイデンティティ

著者：佐々木 掌子

「あなたのジェンダー・アイデンティティはなに？」思春期のあなたが、この質問に答えられなくても大丈夫。なぜなら、性別は揺れ動くものだから。自分の性を知ること、自分を知ること。性について考えることは、周りの人を大切にすること。この本を読んで、ジェンダー・アイデンティティについて考えてみませんか？





犯罪心理学者が教える 子どもを呪う言葉・救う言葉

著者：出口 保行



どうすれば子どもが社会不適応を起こさず、幸せに生活していけるのか？周囲の大人たちはどういうところに気をつけるべきなのか。

犯罪者・非行少年合わせて1万人超の心理分析を行ってきた著者による子育て本です。失敗例を知ることは、失敗を防ぐだけでなく、むしろ「どうすれば成功するのか」を考えるきっかけにもなります。上手くいかないことがあっても、愛情を持って真剣に向き合っていくことが大切です。各家庭での「目指す姿」を家族で共有し、修正を恐れない姿勢が大切であると気づかされます。



おいしいごはんが 食べられますように

著者：高瀬 隼子



「食えること」をめぐる社内小説です。「おいしいごはん」とはいったい何？と考えてしまいます。食に対する考え方は人それぞれ違うのに、他人に押し付けすぎると、「おいしい」じゃなくなってしまふ。そしてそれは「生き方」に対する個々の考え方にも繋がっていきます。ままならない微妙な人間関係や同調圧力によって、生きづらさを感じている人に響く本です。





マヤコ 101歳

著者： 室井 摩耶子

著者の室井 摩耶子さんは、101歳の現役のピアニストの方です。生涯現役を貫くため、リサイタル前には1日8時間、現在でもピアノにぶっ通しで向き合っているそうです。そんな著者が心がけていることは・・

- 人の言うことは聞かない
- 嫌なことは「ノー」と自分の意志はきちんと伝える。
- 寝たい時に寝て、起きたい時に起きる。
- 老いては「個（自分の心と体）」に従え！
- 「終活」を考えるくらいなら今日という日を大切にする。
- 心に頭陀袋※を持ち、腹が立ったり、悲しい気持ちも嫌な気持ちも、面白いことも、驚いたことも全部入れると、嫌な気持ちはすっきりと無くなり、うれしい事や楽しいことは、気分だけが残る。等々

※頭陀袋とは、托鉢などのときに、お坊さんが首から下げている袋の事。



クスッと笑いながら、人生の大先輩の生きざまを学んでみませんか？

